

平成22年度 決算

平成23年第3回市議会定例会において、平成22年度一般会計と特別会計、企業会計の決算が認定されました。一般会計を中心に、その概要をお知らせします。

なお、文や図表中の数字は、1万円未満を四捨五入などしてあります。

一般会計

一般会計の予算額1,021億5,228万円に対して、歳入決算額（実際に市に入ってきたお金）は、1,025億2,530万円、また、歳出決算額（使ったお金）は、978億6,831万円となりました。

歳入決算額から歳出決算額を差し引くと、46億5,699万円となり、このうち平成23年度へ繰り越した事業の財源となる9億7,224万円を除いた実質的な収支差引は、36億8,475万円となりました。

歳入

歳入の主な状況を見てみると、市民税や固定資産税などの市税収入が、402億9,273万円（全体の39.3%）、また、市町村の財政力に応じて交付される地方交付税が、192億9,344万円（18.8%）、国・県から補助金などとして交付される国庫支出金・県支出金が、182億9,355万円（17.8%）となっています。

また、自主財源は、486億5,332万円（全体の47.5%）で、市税収入や分担金・負担金、使用料・手数料が主なものです。一方、依存財源は、538億7,198万円（52.5%）で、地方交付税や国・県からの支出金、市債などが主なものです。



平成22年度歳入決算財源構成状況

科目		決算額	構成比(%)
自主財源	市税	402億9,273万円	39.3
	分担金及び負担金	19億2,147万円	1.9
	使用料及び手数料	21億8,592万円	2.1
	財産収入	3億9,382万円	0.4
	寄附金	6,278万円	0.1
	繰入金	6億1,708万円	0.6
	繰越金	19億1,967万円	1.9
	諸収入	12億5,985万円	1.2
	自主財源計	486億5,332万円	47.5
依存財源	地方譲与税	11億8,139万円	1.1
	利子割交付金	1億6,890万円	0.2
	配当割交付金	8,175万円	0.1
	株式等譲渡所得割交付金	2,651万円	0.1
	地方消費税交付金	27億8,170万円	2.7
	ゴルフ場利用税交付金	3億5,954万円	0.3
	自動車取得税交付金	3億8,483万円	0.4
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	5,736万円	0.1
	地方特例交付金	5億5,317万円	0.5
	地方交付税	192億9,344万円	18.8
	交通安全対策特別交付金	5,514万円	0.1
	国庫支出金	124億1,716万円	12.1
	県支出金	58億7,639万円	5.7
	市債	106億3,470万円	10.3
依存財源計	538億7,198万円	52.5	
合計	1,025億2,530万円	100.0	

